



良寛「天上大風」



「照鳴 火炎 照我」



種田山頭火「分け入っても分け入っても青い山」

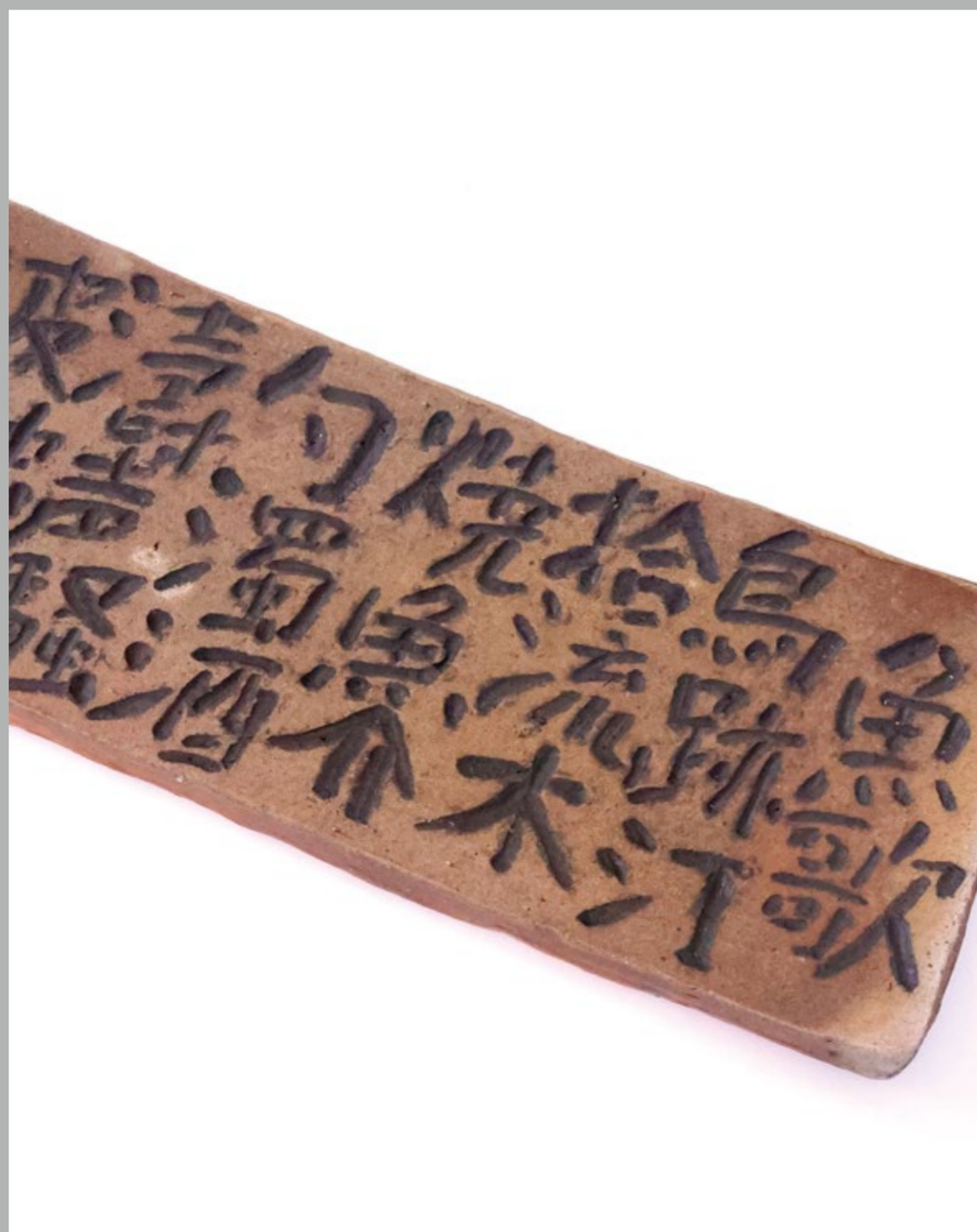


世阿弥「花」

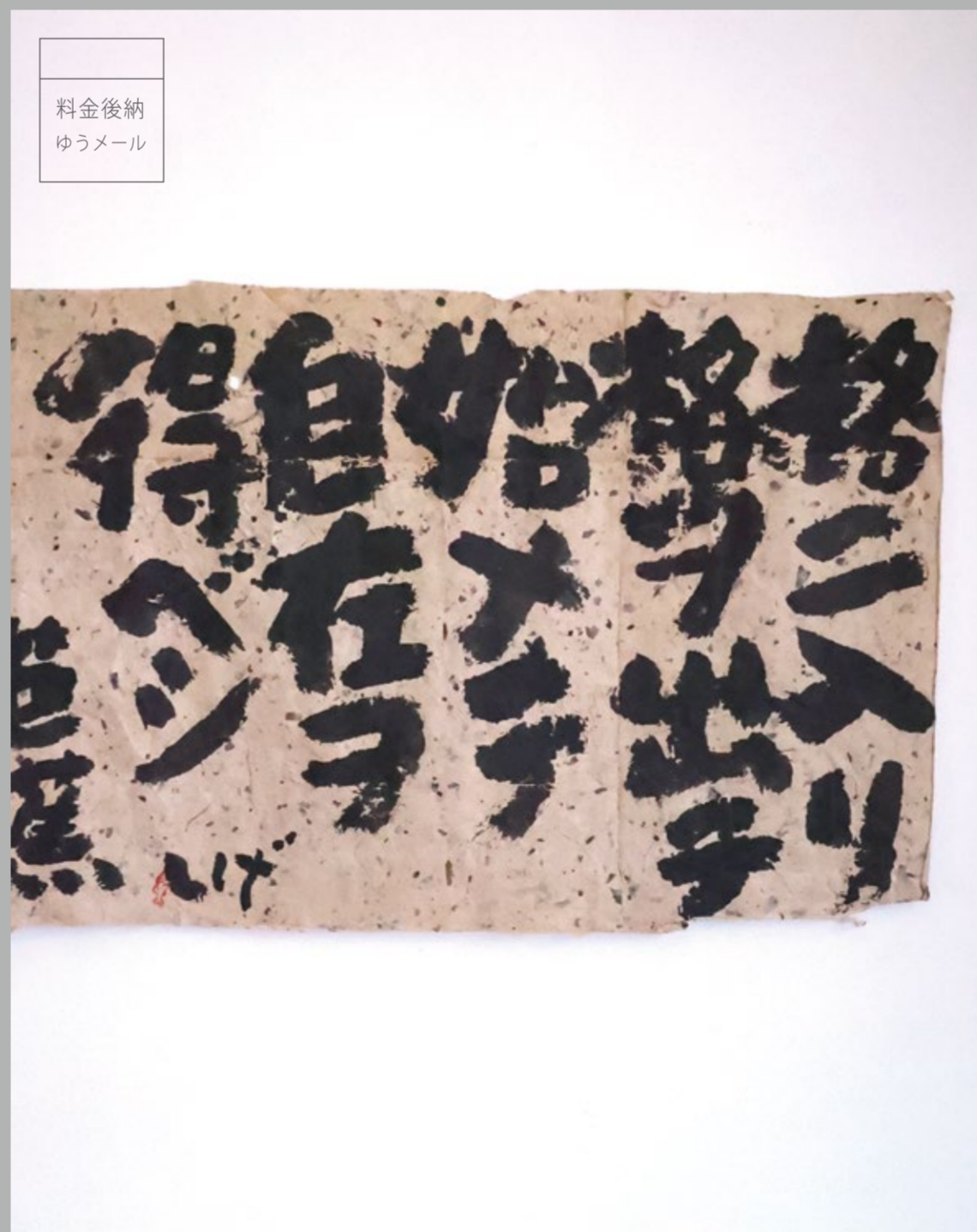
# SHIGEYOSHI MORIOKA EXHIBITION WORDS AND POTTERY



「一所不在」



吉田一穂「鳥跡江 拾流木 魚木 江歌」



松尾芭蕉「格に入り、格を出て初めて自在を得べし」



種田山頭火「しぐる土をふみしめてゆく」

和歌山県高野山の麓にある森岡成好さんのお住まいを訪ねると自筆の書が仕事場や居間の柱や壁に貼られています。格言、自由律の句、漢詩など、ご自身に向けた言葉が暮らしの中で馴染むように掲示されているのです。「字は人を表す」とか「書は心画なり」と言われるように、和紙からフレームアウトした寂かな墨跡は、まさにシゲさんのお人柄そのものです。そんな言葉を形り込んだ焼き物を過去の展覧会で何度も展示してきました。くい呑みの中の山頭火の言葉。皿や鉢に書かれた芭蕉や良寛の言葉。台皿に書かれた李白の言葉。花人に書かれた世阿弥の言葉。その意味がすぐに分からなくても、焼き物の質感と文字が相まった器は、

見ただけでも味わい深く、さらにその内容を知らればしみじみと感じ入ることが出来るのです。シゲさんが選ぶ詩や句は、決しておしつけがましくなく、自己を振り返る思いであったり、人生の無常を説いていたり、やがて受動的に使う人に大切な意味をもつようになるのです。そんな言葉と焼き物が一緒になった器をいつかまとめて展示してみたいと思っていました。今の時代は言葉の重要性は低くなっていますが、シゲさんのうつわと言葉を知られば、誰もが励まされるように思うのです。今展では、そんな言葉の入った焼き物や墨書きをテーマに展示します。自分自身に響くうつわと言葉と出会う機会になることを願っております。

店主

料金後納  
ゆうメール

森岡成好展 うつわと言葉  
二〇二二年十二月三日(土)～十二日(日) 十一時～十八時 最終日は十七時迄 作家在廊日 十二月三日

喜多院入口 東通川緑日音館

ギャラリー うつわノート  
埼玉県川越市小仙波町1-7-6  
TEL 049-298-8715  
MAIL utsuwanote@gmail.com  
電車：川越駅(東武上野・有馬)より徒歩25分  
バス：東武川越駅(有馬)より徒歩20分  
バス：東武川越駅(有馬)より徒歩20分  
バス：東武川越駅(有馬)より徒歩20分  
バス：東武川越駅(有馬)より徒歩20分  
車：ギャラリー専用の駐車場は3台有

略歴  
1948年 奈良県生まれ  
1970年 米国で映画製作技術を学ぶ  
1973年 和歌山県天野に築窯  
2022年 和歌山県かつらぎ町にて制作

森岡成好展 うつわと言葉  
2022年12月3日(土)～11日(日) 作家在廊日 12月3日

GALLERY  
うつわノート